

予防接種の手びき 2022-23 年度版 お詫びと訂正

本書におきまして、誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともにお詫び申し上げます。

訂正箇所	誤	正	備考
P.7「1. 種痘の発明と普及」の項 上から 10 行目	<u>1976 年</u> 、英国の医師 Edward Jenner は、	<u>1796 年</u> 、英国の医師 Edward Jenner は、	
P.7「1. 種痘の発明と普及」の項 上から 18 行目	加えて <u>1978 年</u> 自費出版したところ、	加えて <u>1798 年</u> 自費出版したところ、	
P.112「現行の予防接種(4)」の表中 「定期予防接種」区分 「B 型肝炎ワクチン」の 「接種方法」欄	27 日以上の間隔をおいて <u>0.5mL</u> ずつ 2 回、さらに 1 回目接種後 139 日以上の間隔をおいて <u>0.5mL</u> を 1 回皮下または筋肉内に接種	27 日以上の間隔をおいて <u>0.25mL</u> ずつ 2 回、さらに 1 回目接種後 139 日以上の間隔をおいて <u>0.25mL</u> を 1 回皮下または筋肉内に接種	通常は 0.5mL ずつですが、10 歳未満の場合は 0.25mL ずつとなります。表では定期予防接種について記載しており、その接種対象は「生後 1 歳に至るまでの間にある者」となります。 詳しくは P.187 をご参照ください。